

令和7年度 第3回 佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会

会 議 録

〔会議概要〕

日 時	令和7年12月18日(木) 午前10時00分から			
場 所	佐倉市役所 議会棟 第3委員会室			
会議次第	1. 開会 2. 福祉部長あいさつ 3. 議事 - 会議の公開の確認 - (1) 令和7年度 地域包括支援センター事業評価結果について (2) 第10期佐倉市高齢者福祉・介護計画の策定に向けた調査の実施について 4. その他 5. 閉会			
出席委員 (12名)	会 長	岩淵 康雄	(医師)	
	委 員	森本 功	(歯科医師)	
	"	吉武 君枝	(民生委員・児童委員)	
	"	田仲 知代	(ボランティア団体)	
	"	川崎 順子	(高齢者クラブ)	
	"	佐川 章	(施設介護サービス事業者)	
	"	石原 茂樹	(公募市民)	
	"	岡田 恭比呂	(公募市民)	
	"	鴫崎 金次	(公募市民)	
	"	藤倉 昇	(公募市民)	
	"	宮村 直樹	(公募市民)	
	"	矢野 明宏	(学識経験者)	
欠席委員 (2名)	副会長	鳴海 和久	(社会福祉協議会)	
	委 員	石原 隆広	(在宅介護サービス事業者)	
事務局	福祉部長	島村 美恵子		
	高齢者福祉課長	村上 一郎		
	介護保険課長	小林 和之		
	高齢者福祉課 生きがい支援班長	主 査 上原 将彦		
	包括支援班長	主 査 岡本 崇広		
	包括ケア推進班長	主 査 曾田 寿江		
	地域支援班長	主 査 松本 愛美		
	地域支援班	主査補 佐々木 陽子		
	介護保険課 介護給付班長	副主幹 遠藤 慶子		
	介護給付班	主査補 郷渡 裕之		
	介護給付班	主 査 近藤 隆之		
	介護資格保険料班長	主 査 吉田 利哉		
	介護認定班長	主 査 菅原 伸吾		
	高齢者福祉課 生きがい支援班(書記)	主査補 三須 裕文		
	(書記)主任主事	田中 美帆		
その他	傍聴者	1名		

【発言要録】

発言者	内 容
高齡者福祉課長	<p>【 開会 】</p> <p>本日は、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。進行を務めさせていただきます、高齡者福祉課長の村上でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、定刻となりましたので、「令和7年度 第3回 佐倉市 高齡者福祉・介護計画 推進懇話会」を開会いたします。</p> <p>本日の会議は、会議録作成のため録音をしておりますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>また、円滑な会議進行にご理解とご協力をお願い申し上げます。</p>
高齡者福祉課長	<p>【 資料確認等 】</p> <p>はじめに、会議に使用する資料の確認をお願いいたします。</p> <p>本日の資料は、事前にお送りした資料として、会議の次第、議事1 令和7年度地域包括支援センター事業評価結果についての資料1-1、1-2、1-3、1-4、議事2 第10期佐倉市高齡者福祉・介護計画の策定に向けた調査の実施についての資料2でございます。</p> <p>そして、本日お配りした追加資料及び事務局職員出席者名簿でございます。資料の不足等はございませんでしょうか。</p>
高齡者福祉課長	<p>【 福祉部長あいさつ 】</p> <p>続きまして、福祉部長あいさつでございます。</p> <p>[福祉部長あいさつ]</p>
高齡者福祉課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここからは、議事となりますので、佐倉市 高齡者福祉・介護計画 推進懇話会 設置要綱 第7条 第1項の規定に基づき、会長に議長をお願いいたします。</p>
会長	<p>【 会議の成立等 】</p> <p>規定により、会長が、会議の議長を務めることとなっておりますので、これより私が進行をさせていただきます。</p> <p>まず、委員の出席状況でございます。</p> <p>当懇話会の設置要綱第7条第2項に「委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない」とあります。</p> <p>本日は、鳴海副会長、石原（隆）委員が所用により欠席ですが、委員の過半数が出席していますので、本日の会議は成立いたします。</p>

発言者	内 容
会長	<p>本日の会議の内容は、公開することにより公正・円滑な議事運営が阻害されるものに当たらないため、会議は公開とし、傍聴を認めることといたします。よろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」の声あり〕</p> <p>それでは、傍聴人に入室いただきください。</p> <p>〔傍聴人入室、着席〕</p> <p>傍聴人をお願いします。傍聴要領を確認いただき、会議進行へのご協力をお願いいたします。</p>
会長	<p>【 議 事 1 】</p> <p>それでは、議事1「令和7年度 地域包括支援センター事業評価結果について」、事務局の説明をお願いします。</p>
高齢者福祉課 (松本)	<p>高齢者福祉課 地域支援班長の松本でございます。</p> <p>議事1「令和7年度 地域包括支援センター事業評価結果について」ご説明させていただきます。資料1-1をご覧ください。</p> <p>〔以下、資料1-1、1-2、1-3、1-4を説明〕</p>
会長	<p>ここまでの説明に関して、ご意見、ご質問があればお願いします。</p> <p>なお、発言の際には委員名もお願いします。</p> <p>〔質疑・応答〕</p>
A委員	<p>資料1-2について、全ての地域包括支援センターで評価が×となった8番と38番については、国の制度改正等によるもので、センターにとってはやりようがないものだったかと思しますので、こういった評価になってしまったのはかわいそうだなと思えます。</p> <p>臼井・千代田地域包括支援センターのみで評価が×となった28番と37番について、例えば職員間の連携が上手くいっていない等の特殊事情があれば教えてください。</p>
高齢者福祉課 (松本)	<p>全ての地域包括支援センターで評価が×となった項目につきましては、おっしゃるとおり、センターに非があるものではございません。</p> <p>8番の項目につきましては、事業計画に重点目標を記載するべきとい</p>

発言者	内 容
<p data-bbox="167 1070 263 1108">B委員</p> <p data-bbox="167 1261 363 1346">高齢者福祉課 (岡本)</p>	<p data-bbox="395 212 1428 342">う事が昨年度途中に示されたもので、それまで記載する欄がございませんでした。今年度からは重点目標を記載するようにいたしましたので、次年度以降は達成できるものと考えております。</p> <p data-bbox="395 353 1428 483">38番の項目につきましては、指定居宅介護支援事業者等への総合相談支援事業の一部委託は必ずやるべきというのではなく、まだ多くの市町村で実施していないものでございます。</p> <p data-bbox="395 495 1428 678">そのため、こちらにつきましては、市の方で把握するニーズと、センターの方で直接、相談対応している中で必要性が生じてきた段階で検討するものですので、次年度以降も×の評価になる可能性があるかと思っております。</p> <p data-bbox="395 689 1428 819">臼井・千代田地域包括支援センターのみで評価が×となった項目がございましたが、日頃やり取りをする中で対応に問題があるというところは全くございません。</p> <p data-bbox="395 831 1428 1014">市のヒアリングでは、個々の相談について把握はしているが、職員皆で分析をして、例えば新しい研修を開催しようというようなどころまではできていないのではないかとということで、自己評価を×にしたと聞いております。</p> <p data-bbox="395 1070 1428 1200">資料1-4の8ページの間7、志津北部の欄の記載について、迅速な情報共有、連携ができていないような印象を受けますので、現状を教えてください。</p> <p data-bbox="395 1261 1428 1489">高齢者台帳につきましては、一人暮らしの方ですとか、認知症のある方、もしくは寝たきりの方について、民生委員さんを通じて、市役所に登録をしていただくというものでございます。登録いただいた情報は民生委員、市高齢者福祉課と地域包括支援センターの3者で共有させていただいております。</p> <p data-bbox="395 1500 1428 1729">異動があった場合に、基本的には民生委員さん、地域の方で把握していただいて市にご報告をいただくものですが、なかなか把握できない場合もございますので、市で把握できた場合につきましては逆に民生委員や、地域包括支援センターに報告させていただいているものでございます。</p> <p data-bbox="395 1740 1428 2018">このアンケートを実施していただいたのが9月で、8月から10月にかけて、民生委員さんが台帳更新、現状の再調査をするという時期だったもので、異動がうまく伝わらず、ご意見につながったものでございます。同様の意見は市の方でもいただいております。市で把握できたものに関しましては、この更新の時期については随時、把握できた段階ですぐにご連絡するようにいたしました。</p> <p data-bbox="427 2029 1428 2065">アンケートのご回答をいただいた後に状況が変わっているものとい</p>

発言者	内 容
B委員	<p>うことでご理解いただければと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>そうしますと、通常ではどのくらいの頻度で報告を行っているのでしょうか。</p>
高齢者福祉課 (岡本)	<p>地域包括支援センターにつきましては、台帳の異動票というものを作りまして、随時お渡ししておりますので、概ね週に1回程度の報告になっているかと思えます。</p> <p>民生委員さんにつきましては、更新時期以外の通常の時期は月に1回まとめてお渡ししております。</p>
C委員	<p>年間に千何百件もの相談を受けて、少ない人数でよくやっていると思います。利用者のアンケートや民生委員さんのアンケートも結構良い数字が出ているので、客観的に見てもよくやってらっしゃるということではないかなと思います。</p> <p>逆に言うと、自分たちで課題はもう分かっているようなので、他の地域の資源に協力してもらって何とかするという話に繋がっていくのではないかなというところです。</p>
A委員	<p>資料1-3の3ページ、No.25の志津北部地域包括支援センターの記載を見ますと、去年の新規相談件数は1,672件、前年度比71件増ということで、エリア別ではユーカーが丘エリアで424件、前年度比52件増となっています。</p> <p>特に、ユーカーが丘の高層マンションのエリアも当然高齢化していますし、独居の方もいらっしゃるので、今後どうなっていくのかと非常に興味を持っているところです。何か特段、このことについて志津北部からコメントありましたか。</p>
高齢者福祉課 (松本)	<p>コメントは特段いただいておりませんが、日頃やり取りする中で、やはりご近所同士の顔が見えないマンションですと、日頃のつき合いが少ないこともあるので、地域包括支援センターの方でも気にかけて対応しているものと思えます。</p>
D委員	<p>冒頭のご説明から、今回から評価基準が変わったというふうに理解しました。以前と比べてときに、評価は上がっているのでしょうか。それともあまり変わらないのでしょうか。</p>
高齢者福祉課	<p>以前と同じくらいの得点率になっているかと思えます。</p>

発言者	内 容
(松本)	<p>昨年度までは、国が55項目、市が45項目の計100項目で評価を実施しておりまして、評価が×になった項目は翌年度改善をするということもしてございました。今回から評価指標が変わりましたので、全部×となった項目などもあったのですが、全体としましては、日頃やり取りをしている中で、よく運営をしていただいているという所感を持っております。</p>
D委員	<p>近隣の市町村と比べたときにも、高いレベルにあるというご判断になるのでしょうか。</p>
高齢者福祉課 (松本)	<p>全国のもものが2月くらいに公表されるのですが、その中でも高めの水準になるかと思えます。</p>
E委員	<p>資料1-2の17番、センターに在籍するすべての職員に対して、センターまたは受託法人がメンタルヘルス対策を実施しているかという項目で臼井・千代田地域包括支援センターが×の評価になっています。</p> <p>現場としては、非常に逼迫しているとは言わないですけども、人数的にかなりマンパワーでやっているという実態がありますので、なかなかこのメンタルヘルスと言いましても大変だろうなという思いがあります。</p> <p>1件1件の対応に時間がかかるということで、地域包括支援センターの方も非常に苦慮されているということをお伝えしたいと思えます。</p>
高齢者福祉課 (松本)	<p>臼井・千代田地域包括支援センターは、特にレイクピア臼井の中に入ってから相談件数が激増しておりまして、職員の数もセンターの中では一番多いのですが、対応が大変な中で、大変よく運営いただいております。</p>
F委員	<p>相談があって、それが終わったら終わりなのかと言ったらそうではなく、ずっと継続して関わっていくということになりますし、地域の方々も包括支援センターに相談すれば何とかなるという認識がありますので、民生委員もすごく頼っていますし、相談場所がとても良い場所になっていますので本当に相談ケースが持続している件数が多いと思えます。</p> <p>職員の人数が大丈夫なのかという心配もありますし、1人1人が重い案件をたくさんお持ちなので、本当に心配になります。メンタルの方の対策は、1日も早くきちんとしてくださると良いなと思っています。次年度から期待しています。</p>

発言者	内 容
<p>G委員</p> <p>高齢者福祉課 (松本)</p>	<p>相談件数1,672件とありますが、1件が長引いたり、すぐ終わったりで重さが違うと思うのですが、それについてはいかがでしょうか。</p> <p>掲載している1,672件が新規相談の件数で、継続している件数が、例えば志津北部ですと4,000~5,000件くらいだったかと思います。</p> <p>たくさんの相談を抱えている中で、もちろん現場に立たれている地域包括支援センターの皆様が一番頑張っていただいているのですが、市の方でも、毎月の管理者会議でセンターが感じている課題等を挙げていただき解決できるようにするというところと、介護予防や生活支援体制等の担当者とも個々に概ね毎月1回以上は定例で課題を挙げていただいております、問題となるものは早期に解決していくよう努めています。</p> <p>ただ人員がやはり大事なところでございまして、今年度の4月から事務職員の1人増員の予算を確保しまして、各センターの方に配置できるようにしたところです。</p> <p>センターの職員の人数が国の基準で定まっております、なかなかそれ以上の加配をすることが実際上難しいところもあるのですけれども、例えば事務の効率化はもちろんですが、ここがやりづらいなところというのは会議の場以外でも、普段電話のやり取りなどでも、気軽に意見をいただける体制はできていると考えております。</p> <p>市の方としても、負担が重くなりすぎないようにしていきたいという思いは強くございます。</p>
<p>H委員</p>	<p>まず1点目に、事業評価結果の分析のところですが、客観的に見る効果を何かご検討されているでしょうか。ネットで見ますと民間企業の資料で、中間アウトカム指標の考え方等の事例を載せられていますので、取り組みの結果や活動目標の達成状況を客観的に見る効果を取り入れたらいかがかなと思っています。</p> <p>2点目に、地域包括支援センターの指標として地域アセスメント、将来像や今後のあり方のようなものにつきましても言及されたらいかがかなと思います。</p> <p>最後に、他の市町村ではレーダーチャートでの分析結果が示されているものが比較的多いようです。例えば全国平均、千葉県、佐倉市の比較が一目で見られたら分かりやすいので取り入れたらいかがかなと思っています。以上です。</p>
<p>高齢者福祉課 (松本)</p>	<p>分かりやすい形で資料としてお示しできていない部分もあるかと思っておりますので、翌年度以降、検討させていただきます。</p> <p>レーダーチャートでの分析結果につきましては、全国平均が2月頃に</p>

発言者	内 容
会長	<p>出る予定ですので、次回の懇話会にはお示ししたいと思っております。</p> <p>【 議 事 2 】</p> <p>では次に、議事2「第10期佐倉市高齢者福祉・介護計画の策定に向けた調査の実施について」、事務局の説明をお願いします。</p>
高齢者福祉課 (上原)	<p>高齢者福祉課 生きがい支援班長の上原でございます。</p> <p>議事2「第10期佐倉市高齢者福祉・介護計画の策定に向けた調査の実施について」ご説明させていただきます。資料2をご覧ください。</p> <p>[以下、資料2、追加資料を説明]</p>
会長	<p>ここまでの説明に関して、ご質問、ご意見等があれば、お願いします。なお、発言の際には委員名もお願いします。</p> <p>[質疑・応答]</p>
H委員	<p>介護予防日常生活圏域ニーズ調査の回収率については、何か国からの指示がありますでしょうか。</p>
高齢者福祉課 (上原)	<p>回収率につきましては、特に指示というものは無く、佐倉市の方では前回及び前々回の実績をもとに7割程度の回収率を想定しております。</p>
G委員	<p>在宅介護実態調査について、対象者が要支援、要介護認定者のうち更新申請、区分変更申請を行った方800人ということですが、年間で更新申請、区分変更申請を行う方は大体何人程度いらっしゃるのでしょうか。</p>
介護保険課 (菅原)	<p>更新申請と区分変更申請を合計した人数で、令和6年度の実績ですと5,415名になります。年度によってばらつきはあるのですが、令和7年度の11月現在、8か月間ですけれども合計3,122人になります。</p>
H委員	<p>介護予防日常生活圏域ニーズ調査の対象者の属性ですが、年度によって結構ばらつきがあるのではないかと思うのですが、比較するとき、対象者が全然違ったりすると、本当の意味でのデータとしてはどうなのかと思いますがいかがでしょうか。</p>
高齢者福祉課 (上原)	<p>日常生活圏域ごとに地域の特性、ニーズを把握することを目的としていますので、年齢の構成等は変わりますが、支障はないと考えておりま</p>

発言者	内 容
I 委員	す。 郵送法による調査回収ということですが、締め切りの時点で回収できなかった場合には、督促を行うことがあるのでしょうか。
高齢者福祉課 (上原)	督促を行う予定はございません。
I 委員	認知症の人および家族の意識調査について、聞き取り調査はどのような立場の方が調査されることを想定していらっしゃいますでしょうか。
高齢者福祉課 (曾田)	聞き取り調査につきましては、地域包括支援センターの方のご協力と市の職員で聞き取りをしていく予定で考えております。
I 委員	その辺りのところがきちんと方針としてあるというところでありますので、何とかうまく協力していただきたいなという願いがあります。良い調査になると良いなというふうに思っております。
会長	<p>【 議事終了 】</p> <p>よろしいでしょうか。 以上で本日の議事はすべて終了しました。 ご協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p>
高齢者福祉 課長	<p>【 その他 】</p> <p>岩淵会長には、議長をお務めいただきありがとうございました。ここで、事務局から報告並びに事務連絡がございます。</p>
介護保険課 (郷渡)	<p>介護保険課の郷渡でございます。 私からは、介護保険施設の整備状況について、説明させていただきます。</p>
高齢者福祉課 (上原)	<p>〔以下、介護保険施設整備状況等を説明〕</p> <p>高齢者福祉課の上原でございます。 事務連絡をさせていただきます。 今後、今回の懇話会の会議録を作成いたします。作成した会議録は各委員の皆様へ送付させていただきますので、確認をお願いいたします。 次回の第4回懇話会の開催を、3月19日(木)に予定しております。 議事、会場等の詳細が決定いたしましたら、ご連絡をさせていただきます。</p>

発言者	内 容
<p>高齢者福祉 課長</p>	<p>す。以上です</p> <p>【 閉会 】</p> <p>本日、委員の皆様には、お忙しい中、会議にご出席をいただきましてありがとうございました。</p> <p>以上で、令和7年度 第3回 佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会を閉会いたします。</p>